

Generative AI Conference 2025

協賛のご案内

2025/06/13更新

主催：日経ビジネス
協力：一般社団法人 Generative AI Japan

日経BP

課題発見から実装まで—生成AIで切り拓く新たなビジネス機会

昨年12月に初開催した「Generative AI Conference2024」では、先進企業による活用事例、専門家による最新動向の共有を通じて、生成AIの可能性について深く掘り下げる機会となりました。カンファレンスに参加された多くの参加者の皆様から好評を得た一方、アンケートなどから生成AI導入にあたっての現状の課題もいくつか顕在化し、具体的な支援や活用イメージに対するニーズも浮き彫りになりました。（※下記来場アンケートをご参照ください）

第2回目の開催となる今年は、このようなニーズに対応するため、実践フェーズに重点を置き具体的な洞察や多様な活用事例を提供したいと考えています。製品やサービスを訴求できる絶好の機会となるほか、潜在顧客と直接接点を持ち、リアルなニーズを掴む場としても活用いただけます。ぜひご参画いただけますようお願い申し上げます。

※Generative AI Conference2024にて実施したアンケート結果より抜粋

貴社において生成AI/AIの導入に関しての課題をお聞かせください。

- まだトライアル利用に留まっている
- ベスト(当社にとって最も業務効率の改善に寄与する)なサービスは何か、それを模索し、ベストパートナーと確信が持てるサービス企業はどこなのか、決め手がなく焦りはありつつも時間だけが過ぎていく感がある。
導入を決めたあとも推進役となるべき社員が不在。
- データの漏洩に対する安全性の確保
- 収益に繋がる導入が難しい。
- 予算と変化への追従、自社独自の環境構築
- 導入自体が初となるため、まずはスモールスタートで簡単にできるものを導入したいと考えております。

Generative AI Conferenceとは

カンファレンス、アワード、メディアの三位一体で「生成AI」の可能性を社会に広く伝えていきます

「生成AI大賞」の実施

*Generative AI Conference内で
「生成AI大賞」の最終審査・表彰を行います。



企業や団体による生成AIの優れた活用事例を表彰。
アワードを通じて成功事例を共有し、生成AIが持つポテンシャルを社会に示します。

カンファレンス

「Generative AI Conference」の開催



先進企業や有識者による講演やパネルディスカッションを実施。ビジネスへの応用可能性を参加者に広く伝えていきます。

Generative(生成) AI

アワード

メディア

各種媒体での情報発信

日経ビジネス

日経 XTECH

日経 XTREND

「日経ビジネス」などのメディアを中心に情報発信を行い、生成AIの導入・活用に対する機運を高め、企業や社会全体でのイノベーション創出のきっかけを提供していきます。

Generative AI Conference 2025



会期	2025年12月11日(木)
開催形態	リアル開催 ※後日、アーカイブ配信を予定
開催場所	TODA HALL & CONFERENCE TOKYO
主催	日経ビジネス
協力	一般社団法人Generative AI Japan / 日経BP 総合研究所
事前登録者	800-1,000名程度
参加対象者	・生成AI導入をご検討中の方 ・生成AI活用に課題を感じている方 ・業務効率化や競争力向上のためのAI活用に興味・関心のある方
事前登録方法	事前登録制（登録無料）

Generative AI Conferenceご協賛の3つの特徴

1

生成AIに関する専門団体

「Generative AI Japan」との連携

大手企業を中心に幅広い業種の生成AIを活用する企業が参画している
(一社)Generative AI Japanと連携し、企画立案、プロモーション、集客を行います。本カンファレンス内で、生成AI大賞の最終審査・表彰式を実施します。



2

生成AIに関する有識者・関係者が集う

「ネットワーキングパーティー」の開催

本カンファレンスの最後には関係者限定のネットワーキングパーティーを実施します。
このネットワーキングパーティーには協賛企業の方々もご招待いたします。



3

「日経ビジネス」媒体でのプロモーション

とメディア露出

日経ビジネスの関連媒体を中心にプロモーションを実施いたします。
また、会期後にはレビュー記事の掲載も行うことで、購読者へのPRにも繋がります。



Generative AI Conferenceご協賛の3つの特徴

1. 生成AIに関する専門団体「Generative AI Japan」との連携

Generative AI Japanとは

産学連携にて生成AIの活用の促進やルール・ガイドラインの整備、提言などを行い、日本の産業競争力を高めることを目指し2024年1月に発足。代表理事は慶應義塾大学医学部の宮田裕章教授が務め、理事・顧問には学术界や先端企業の有識者ら19人が就任、70社を超える企業が会員として加盟。（2025年4月時点）

Representative Director
代表理事



データサイエンティスト
慶應義塾大学医学部教授
2025年日本国際博覧会テーマ事業プロデューサー
Co-Innovation University（仮称）学長候補
宮田 裕章

Expert Director
有識者理事



デジタルハリウッド大学
教授・学長補佐
佐藤 昌宏



東京大学公共政策大学院教授
慶應義塾大学政策メディア研究科
兼総合政策学部教授
鈴木 寛



琉球大学 工学部 教授
H2L, Inc. CEO
東京大学 大学院 工学系研究科 教授
玉城 絵美

Advisor
顧問



株式会社ベネッセホールディングス
専務執行役員 CDXO
兼 Digital Innovation Partners本部長
橋本 英知

Director
理事



ウルシステムズ株式会社
代表取締役会長
漆原 茂
※発起人



日本マイクロソフト株式会社
クラウド&AIソリューション事業本部
データプラットフォーム 統括本部
業務執行役員 統括本部長
大谷 健



アルサーガパートナーズ 株式会社
代表取締役社長 CEO/CTO
小俣 泰明



パナソニックコネクト株式会社
執行役員
アソシエイト・ヴァイス・プレジデント CIO
河野 昭彦



元META 執行役員
馬淵 邦美



グーグル・クラウド・ジャパン合同会社
ソリューション&テクノロジー部門
統括技術本部長
寛野 雄太



株式会社サイバーエージェント
AI事業本部 AIクリエイティブDiv 統括
毛利 真崇



トレンドマイクロ株式会社
サイバーセキュリティイノベーション
研究所 執行役員 所長
飯田 朝洋



株式会社ベネッセコーポレーション
データソリューション部 部長
國吉 啓介
※発起人/業務執行理事/事務局長



株式会社メンバーズ執行役員兼
メンバーズデータベンチャーカンパニー社長
白井 恵里



アマゾンウェブサービス ジャパン合同会社
執行役員 /パブリックセクター技術統括本部長
瀧澤 与一



日本オラクル株式会社
専務執行役員 クラウド事業統括
竹爪 慎治



株式会社ベイカレント・コンサルティング
代表取締役社長
則武 達二



株式会社Recursive
共同創業者・代表取締役COO
山田 勝俊

1. 生成AIに関する専門団体「Generative AI Japan」との連携

<Generative AI Japan会員企業一覧>

大手企業を中心に幅広い業種の企業が加盟

企業名	業種・カテゴリ	企業名	業種・カテゴリ	企業名	業種・カテゴリ
株式会社ベネッセコーポレーション	理事企業	アサヒグループホールディングス株式会社	食品	ENEOSホールディングス株式会社	エネルギー・資源・素材
ウルシステムズ株式会社	理事企業	味の素株式会社	食料品	SB Intuitions株式会社	情報・通信
日本マイクロソフト株式会社	理事企業	アドビ株式会社	情報・通信	株式会社 荏原製作所	機械
アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社	理事企業	学校法人アルコット学園	教育・学習支援業	関西電力株式会社	電力
グーグル・クラウド・ジャパン合同会社	理事企業	株式会社アルファシステムズ	情報・通信	株式会社 QUICK	金融情報サービス
日本オラクル株式会社	理事企業	AMBL株式会社	情報・通信	クラウドエース株式会社	情報・通信
株式会社サイバーエージェント	理事企業	石井食品株式会社	製造業（食品）	株式会社JTB	旅行
株式会社ベйкаレント・コンサルティング	理事企業	インフロニア・ホールディングス株式会社	建設	株式会社JPNFT	情報・通信
株式会社Recursive	理事企業	株式会社エーアイスクエア	情報・通信	株式会社自動処理	AIコンサルティング・システム開発
アルサーガパートナーズ 株式会社	理事企業	AI fo U株式会社	AI	株式会社鈴木商会	製造業
株式会社メンバーズ	理事企業	Hmcomm株式会社	情報・通信	株式会社SUBARU	製造
パナソニック コネクト株式会社	理事企業	株式会社エージェンテック	情報・通信	セガサミーホールディングス株式会社	機械
企業名	業種・カテゴリ	企業名	業種・カテゴリ	企業名	業種・カテゴリ
セコム株式会社	サービス	日本総合システム株式会社	ソフトウェア開発・販売	三菱総研DCS株式会社	システム開発
Septeni Japan 株式会社	デジタルマーケティング	日本たばこ産業株式会社	食品	株式会社ミライト・ワン・システムズ	情報システム
全日本空輸株式会社	航空	日本郵政株式会社	サービス	株式会社リブ・コンサルティング	コンサルティング
ソフトバンクロボティクス株式会社	AI ロボット	パースルホールディングス株式会社	サービス	株式会社ロッテ	食品
大和ハウス工業株式会社	建設	株式会社博報堂D Yホールディングス	サービス		
株式会社長大	コンサル	HEROZ株式会社	情報・通信		
株式会社TMJ	サービス	株式会社ビーアイシーピー・データ	コンサルティング		
株式会社テレビ朝日	放送	PwCコンサルティング合同会社	コンサルティング		
東京海上ホールディングス株式会社	保険	株式会社フォレスト	コンサルティング・ソフトウェア		
東京ガス株式会社	ガス	富士ソフト株式会社	情報・通信		
ドルビックスコンサルティング株式会社	コンサルティング	株式会社ブレインパッド	情報・通信		
株式会社Natee	広告	三井住友カード株式会社	クレジットカード業		

Generative AI Conferenceご協賛の3つの特徴

1. 生成AIに関する専門団体「Generative AI Japan」との連携

企業や団体による生成AIの優れた活用事例を表彰する「生成AI大賞」を同時開催

■ 審査基準

課題設定／実装の工夫／インパクト／ガバナンス／将来性

■ 審査委員長

GenAI代表理事／慶應義塾大学 医学部 教授 宮田 裕章 氏

■ 応募期間

2025年7月28日～9月29日



Japan Generative AI Award
生成AI大賞2025

応募サイト

<https://events.nikkeibp.co.jp/event/2025/jgaia25/>

2. 生成AIに関する有識者・関係者が集う「ネットワーキングパーティー」の開催

本カンファレンスの最後には関係者限定のネットワーキングパーティーを実施、生成AIに関連する有識者・関係者とのネットワーク構築に繋がります。

■ ネットワーキングパーティー開催概要(予定)

会場 : TODA HALL & CONFERENCE TOKYO

参加対象 : Generative AI Conference登壇者
Generative AI Japan会員企業代表者及び関係者
Generative AI Award最終選考会登壇企業
後援機関の代表者
協賛企業の関係者

参加者数(予定) : 50~60名



(弊社主催の他のカンファレンスのネットワーキングパーティーの様子)

3. 「日経ビジネス」媒体でのプロモーションとメディア露出

初開催「生成AI大賞 2024」グランプリ発表

Generative AI Conference

VIEWING

企業における生成AIの活用はもはやブームの域を超え、日本国内でも多くの企業・団体向けビジネスへの展開を進めている。

そこで、日本ビジネス連は2024年12月に「Generative AI Conference」を開催。数々の先進企業による活用事例紹介や、生成AIに力を入れている企業による講演などで、生成AIによる経営課題の解決策を伺った。

カンファレンスの会場では、自らも培ってきた知恵の「生成AI大賞2024」（Generative AI Japan 主催）についても顕著貢献と賛助賞を授賞。本レポートでは、基調講演や特別講演を視聴するとともに、応募総数139件の作品を決定する生成AI大賞の結果を紹介する。

主催 日経ビジネス
協办 Generative AI Japan
日経IT 総合研究所



INDEX

- Japan Generative AI Award**
- 「生成AI大賞 2024」初代グランプリ結果発表動画
- 選考グループ
- 生誕AIで経済社会へ…最先端技術が成長産業へ
- グランプリ
- AI「独りよがり」な思考を改善する「ライオン」のデジタル戦略とは
- 第1回「GenAI+」デモンストラティブコンテスト
- 武科トニーとの対談
機能を再認識し、「使いやすさ」を追求
- ハネダセキュリティソリューション
- 生誕AIで変革する販路開拓手段
ハネダ社が描く未来への挑戦とは
- 審査カラス
- 東京大学が推進する生成AIの活用
「知識検索型AI」活用への期待
- Google Cloud
- 「生成AI大賞2024」審判員インタビュー：生成AI活用が加速する中、実用性の高いインフラ構築が重要視される
- アピリタ
- 企業価値向上を目指す「生成AI大賞」
- AI大賞は経営者の責任
「生成AI大賞」の意義と今後の展望

Japan Generative AI Award 生 成 AI 大 賞 2024



「生成AI大賞2024」審判員のインタビューは生成AI活用が加速の中、実用性の高いインフラ構築の重要性が指摘されている。「産研官民」联手「産研官民」連携による生成AIの活用拡大にとどまらず、組織変革や事業多角化を図るための取り組みに取り組んでいるところが多いと感じました。

審査委員を務める一般社団法人Generative AI Japan（GENAI）理事長で電通高度大学学部の副学部長有馬貴浩氏。「産研官民」联手「産研官民」連携による生成AIの活用拡大にとどまらず、組織変革や事業多角化を図るための取り組みに取り組んでいるところが多いと感じました。」と評しました。



Generative AI Conference 2024

特別講演

タイトル

生成AIを活用したビジネスを革新 ハルシネーション対策と低料金が柱



石川 行博

ディープテック株式会社
取締役 取締役 専任役員

Google Cloudが発表する最新のジェネレーションAIの進化を踏まえ、2024年は生成AIの活用が「プロダクトイノベーション」で加速し、ユーザーの業務効率化を促すことが期待される。

生成AIがもたらす利便性の反面、生成内容の信頼性の低下やハルシネーション、著作権の問題が浮き彫りにされている。生成AIの活用を推進するためには、ハルシネーション対策と低料金が柱となる。

AIと検索の併用で偽情報を排除 プロダクト改善も効果的

石川氏は、生成AIが「プロダクトイノベーション」を加速させるだけでなく、コスト削減にも貢献する。生成AIを活用することで、開発コストが削減され、開発スピードが向上する。また、生成AIを活用することで、ユーザーの業務効率化が実現される。生成AIを活用することで、開発コストが削減され、開発スピードが向上する。また、生成AIを活用することで、ユーザーの業務効率化が実現される。

生成AIを活用することで、開発コストが削減され、開発スピードが向上する。また、生成AIを活用することで、ユーザーの業務効率化が実現される。生成AIを活用することで、開発コストが削減され、開発スピードが向上する。また、生成AIを活用することで、ユーザーの業務効率化が実現される。

大規模利用での低料金を実現 一般社員でも汎用可能

生成AIの大規模利用を実現するためには、低料金が不可欠である。生成AIの大規模利用を実現するためには、低料金が不可欠である。生成AIの大規模利用を実現するためには、低料金が不可欠である。



Japan Generative AI Award

「生成AIを活用したプロダクトイノベーション」部門
最優秀賞



Microsoft Azure

「生成AIを活用したプロダクトイノベーション」部門
最優秀賞



Amazon AWS

「生成AIを活用したプロダクトイノベーション」部門
最優秀賞



IBM

「生成AIを活用したプロダクトイノベーション」部門
最優秀賞



Oracle

「生成AIを活用したプロダクトイノベーション」部門
最優秀賞



Salesforce

「生成AIを活用したプロダクトイノベーション」部門
最優秀賞



SAP

「生成AIを活用したプロダクトイノベーション」部門
最優秀賞



Cisco

「生成AIを活用したプロダクトイノベーション」部門
最優秀賞



Dell

「生成AIを活用したプロダクトイノベーション」部門
最優秀賞



HP

「生成AIを活用したプロダクトイノベーション」部門
最優秀賞



Lenovo

「生成AIを活用したプロダクトイノベーション」部門
最優秀賞



Xerox

「生成AIを活用したプロダクトイノベーション」部門
最優秀賞



Eaton

「生成AIを活用したプロダクトイノベーション」部門
最優秀賞



Johnson & Johnson

「生成AIを活用したプロダクトイノベーション」部門
最優秀賞



Pfizer

「生成AIを活用したプロダクトイノベーション」部門
最優秀賞



Novartis

「生成AIを活用したプロダクトイノベーション」部門
最優秀賞



Roche

「生成AIを活用したプロダクトイノベーション」部門
最優秀賞



Astellas

「生成AIを活用したプロダクトイノベーション」部門
最優秀賞



Takeda

「生成AIを活用したプロダクトイノベーション」部門
最優秀賞



Daiichi Sankyo

「生成AIを活用したプロダクトイノベーション」部門
最優秀賞



Sumitomo Dainippon Pharma

「生成AIを活用したプロダクトイノベーション」部門
最優秀賞



Chugai Pharmaceutical

「生成AIを活用したプロダクトイノベーション」部門
最優秀賞



Otsuka Pharmaceutical

「生成AIを活用したプロダクトイノベーション」部門
最優秀賞



Shionogi

「生成AIを活用したプロダクトイノベーション」部門
最優秀賞



Daiichi Sankyo

「生成AIを活用したプロダクトイノベーション」部門
最優秀賞



Sumitomo Dainippon Pharma

「生成AIを活用したプロダクトイノベーション」部門
最優秀賞



Chugai Pharmaceutical

「生成AIを活用したプロダクトイノベーション」部門
最優秀賞



Otsuka Pharmaceutical

「生成AIを活用したプロダクトイノベーション」部門
最優秀賞



Shionogi

「生成AIを活用したプロダクトイノベーション」部門
最優秀賞



Daiichi Sankyo

「生成AIを活用したプロダクトイノベーション」部門
最優秀賞



Sumitomo Dainippon Pharma

「生成AIを活用したプロダクトイノベーション」部門
最優秀賞



Chugai Pharmaceutical

「生成AIを活用したプロダクトイノベーション」部門
最優秀賞

[illegible][illegible]

【参考例】Generative AI Conference2024でのレビュー記事

Generative AI Conference

ご協賛について

ご協賛メニュー

講演

リスト提供

展示

講演レビュー

会場・HPでのロゴ掲載

カタログ配布

個別アンケート（任意）

ネットワーキング
パーティへの参加権

先着2社想定 プラチナ

30分間／1枠

事前登録者リストのご提供
（800-1000名想定）

簡易展示ユニット1台

雑誌換算 4C1P 程度の分量を
日経ビジネス&日経ビジネス電子版に掲載

大

1点

実施可能

あり（2名）

ご協賛料金（税別）：
600 万円

先着6社想定 ゴールド

30分間／1枠

事前登録者リストのご提供
（800-1000名想定）

なし

雑誌換算 4C1P 程度の分量を
日経ビジネス電子版に掲載

中

なし

実施可能

あり（1名）

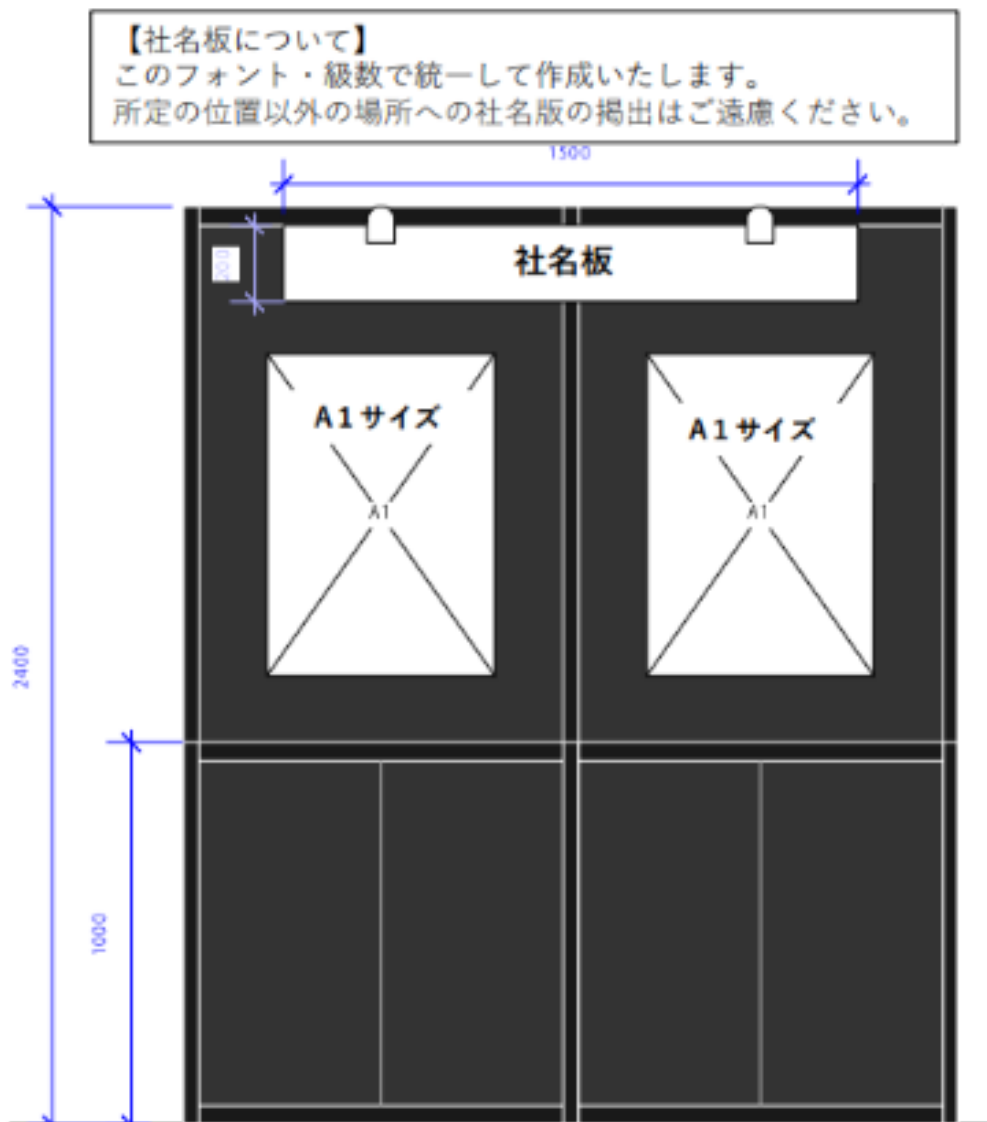
ご協賛料金（税別）：
400 万円

※講演内容は事例中心の内容でお願いいたします。

時間	プログラム	
10:00~10:40	基調講演	
10:45~11:15	特別講演 プラチナスポンサー枠①	
11:20~11:50	特別講演 プラチナスポンサー枠②	
12:00~12:40	特別講演（ランチョンセッション） ※予定	
12:40~13:00	昼休憩	
13:00~13:30	講演	講演
13:40~14:10	ゴールドスポンサー枠①	ゴールドスポンサー枠②
14:20~14:50	ゴールドスポンサー枠③	ゴールドスポンサー枠④
15:00~15:30	講演	講演
15:40~16:10	ゴールドスポンサー枠⑤	ゴールドスポンサー枠⑥
16:20~18:20	生成AI大賞2025 最終審査・表彰式	
18:35~19:35	ネットワーキングパーティ	

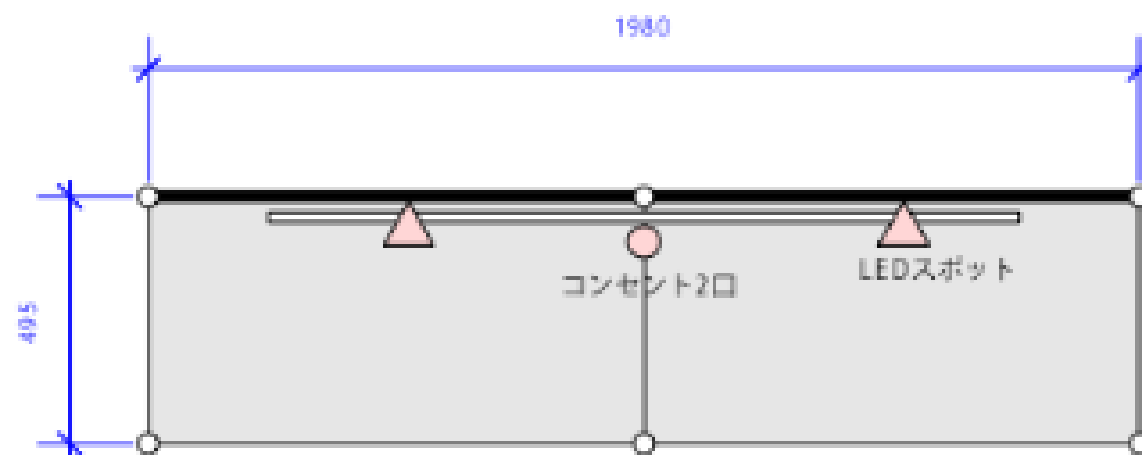
※協賛状況によってプログラムは変更となる可能性があります。

簡易展示ユニットの仕様



事務局よりご用意させていただくもの

- ① 展示システムユニット
- ② 社名板
- ③ LEDスポット
- ④ 電源 ※必要に応じてご用意します
- ⑤ 無線Wi-Fi ※必要に応じてご用意します



※仕様は変更になる場合があります、あらかじめご了承ください

【開催概要】

日	時	2024年12月18日(水) 10:00～18:20
会	場	虎ノ門ヒルズフォーラム (東京都港区虎ノ門1-23-3 虎ノ門ヒルズ森タワー5階)
協	力	Generative AI Japan、日経BP 総合研究所
プラチナ協賛		グーグル・クラウド・ジャパン、アイレット (ABC順)
ゴールド協賛		ベイン・アンド・カンパニー・ジャパン・インコーポレイテッド、 クラウドエース、Dataiku Japan、 EYストラテジー・アンド・コンサルティング、 パーソルワークススイッチコンサルティング、 セールスフォース・ジャパン (ABC順)
参加料		無料(事前登録制)
来場者		365名(事前登録353名、当日登録12名) ※事前登録者数 832名 (事前登録820名、当日登録12名)

[2024年版 告知サイト](#)
[2024年版 採録記事](#)

【当日の来場者属性】

役職

	件数	%
経営者	35	9.9%
役員クラス	28	7.9%
本部長クラス	14	4.0%
部長クラス	67	19.0%
課長クラス	52	14.7%
主任/係長クラス	36	10.2%
一般社員	82	23.2%
派遣社員	2	0.6%
契約社員	8	2.3%
その他	26	7.4%
無回答	3	0.8%
合計	353	

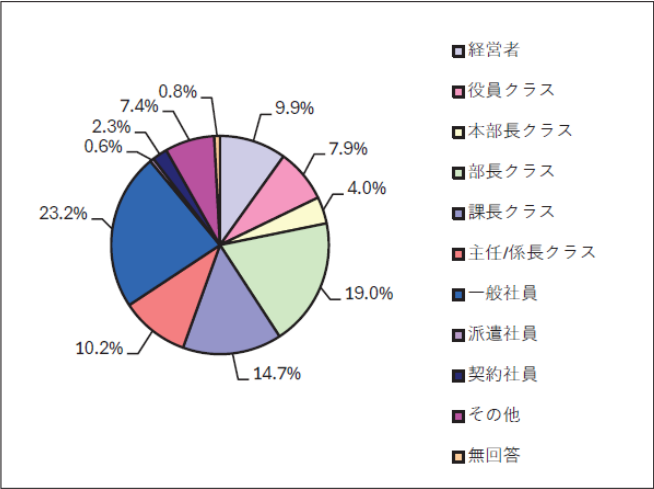
(N= 353)

あなたの立場に近いものをお選びください。

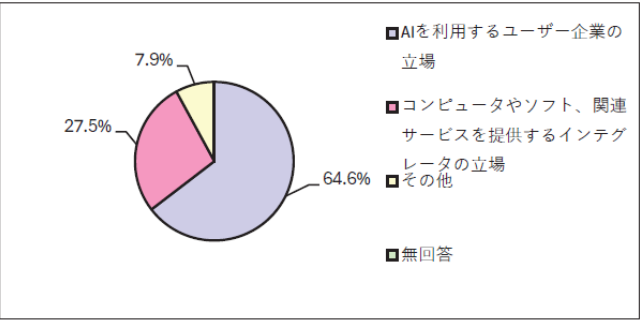
	件数	%
AIを利用するユーザー企業の立場	228	64.6%
コンピュータやソフト、関連サービスを提供するインテグレータの立場	97	27.5%
その他	28	7.9%
無回答	0	0.0%
合計	353	

(N= 353)

経営・役員・本部長で約20%



AIを利用するユーザー企業が約60%



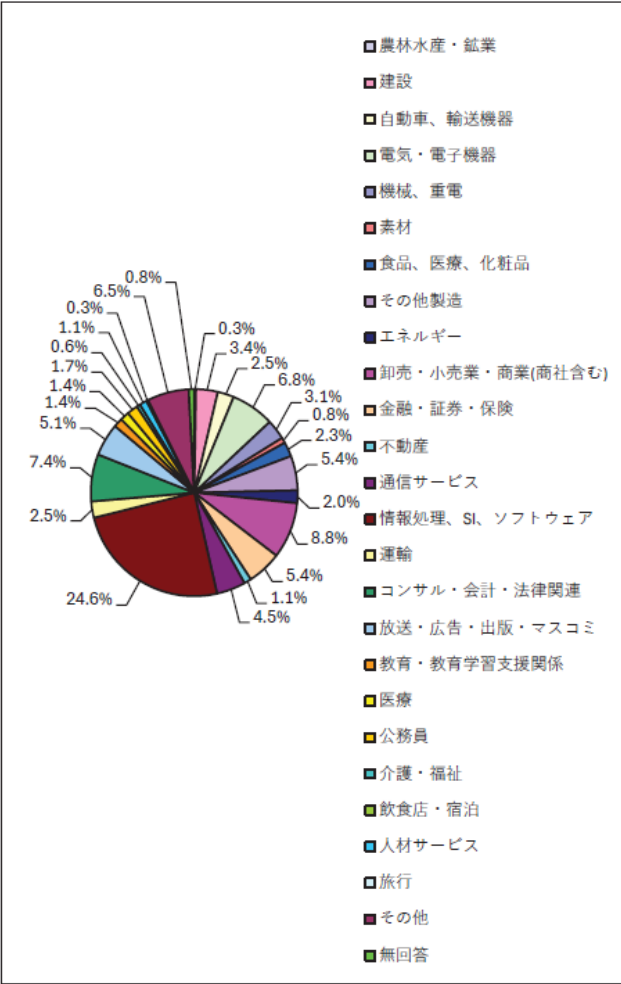
2024年開催報告

【当日の来場者属性】

業種

	件数	%
農林水産・鉱業	1	0.3%
建設	12	3.4%
自動車、輸送機器	9	2.5%
電気・電子機器	24	6.8%
機械、重電	11	3.1%
素材	3	0.8%
食品、医療、化粧品	8	2.3%
その他製造	19	5.4%
エネルギー	7	2.0%
卸売・小売業・商業(商社含む)	31	8.8%
金融・証券・保険	19	5.4%
不動産	4	1.1%
通信サービス	16	4.5%
情報処理、SI、ソフトウェア	87	24.6%
運輸	9	2.5%
コンサル・会計・法律関連	26	7.4%
放送・広告・出版・マスコミ	18	5.1%
教育・教育学習支援関係	5	1.4%
医療	5	1.4%
公務員	6	1.7%
介護・福祉	2	0.6%
飲食店・宿泊	0	0.0%
人材サービス	4	1.1%
旅行	1	0.3%
その他	23	6.5%
無回答	3	0.8%
合計	353	

(N= 353)

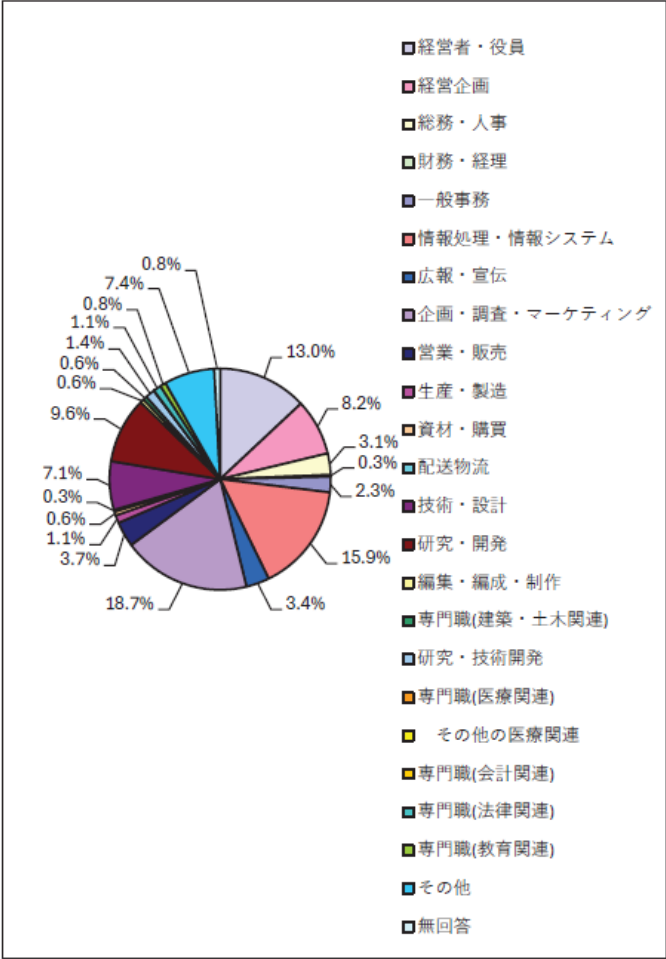


職種

	件数	%
経営者・役員	46	13.0%
経営企画	29	8.2%
総務・人事	11	3.1%
財務・経理	1	0.3%
一般事務	8	2.3%
情報処理・情報システム	56	15.9%
広報・宣伝	12	3.4%
企画・調査・マーケティング	66	18.7%
営業・販売	13	3.7%
生産・製造	4	1.1%
資材・購買	2	0.6%
配送物流	1	0.3%
技術・設計	25	7.1%
研究・開発	34	9.6%
編集・編成・制作	2	0.6%
専門職(建築・土木関連)	2	0.6%
研究・技術開発	5	1.4%
専門職(医療関連)	0	0.0%
その他の医療関連	0	0.0%
専門職(会計関連)	0	0.0%
専門職(法律関連)	4	1.1%
専門職(教育関連)	3	0.8%
その他	26	7.4%
無回答	3	0.8%
合計	353	

(N= 353)

経営・経営企画 21.2%
企画・マーケ 15.9%
情シス 15.9%



貴社において生成AI/AIの導入に関しての課題をお聞かせください。

- まだトライアル利用に留まっている
- ベスト(当社にとって最も業務効率の改善に寄与する)なサービスは何か、それを模索し、ベストパートナーと確信が持てるサービス企業はどこなのか、決め手がなく焦りはありつつも時間だけが過ぎていく感がある。
導入を決めたあとも推進役となるべき社員が不在。
- データの漏洩に対する安全性の確保
- 収益に繋がる導入が難しい。
- 予算と変化への追従、自社独自の環境構築
- 導入自体が初となるため、まずはスモールスタートで簡単にできるものを導入したいと考えております。

本カンファレンス全体について、ご意見や感想がございましたらお聞かせください。

- 大変有意義でした。ありがとうございました。全部は聴講できず残念でした。
- 次回もぜひ参加したいと思います。
- 導入事例と生成AIの今後の動向を聞いたのは嬉しい。また、千葉工大の伊藤氏の専門家の話は大変勉強になり、専門家が生成AIの動向をどう捉えていたのかをしれて貴重な時間だった。DJの話も共感できた。
次回も専門家のお話が聞きたい。アーカイブをの提供があるとありがたい。おさらいしたいのと、聞けなかった講演を聞きたいので。
- 大変有意義でした。1社3分と言わず、5分以上はプレゼンして欲しかったです。
- 様々な企業からセミナーを聞くことができ、非常に有意義でした。午後のセミナーは選択式だったので、自身が興味のあるセミナーを選べたのも良いと思いました。また、別途講義資料もダウンロードできるのも良かったです。

2024年開催報告



※写真は前回（2024年）開催の様子

- ・ 協賛申込締切 : 10月中旬
 - ・ プログラム確定 : 10月下旬
 - ・ 社告掲載/告知サイトオープン : 11月上旬予定
 - ・ Generative AI Conference 会期 : 12月11日 (木)
 - ・ 開催報告掲載 : 2026年1月下旬以降随時
-

日経BP アカウントビジネス3部・4部

TEL : 03-6811-8025 / e-mail : c-ad@nikkeibp.co.jp